

令和7年度学校自己評価システムシート（さいたま市立浦和南高等学校）

（学校番号　s 50）

目指す学校像	文武において高きに挑み、深く学び、地域社会・国際社会に貢献することができる「知・徳・体」の調和がとれた人材を育成する学校
重点目標	1　自己実現…主体的に学習して自己実現を図る生徒を育成する教育体制の構築を推進 2　文武自考…主体的に取り組む生徒を育成するため活力と特色ある教育活動を推進 3　情報発信…コミュニティ・スクールとして積極的に情報発信を行い信頼される学校づくりを推進

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成（8割以上）
	B	概ね達成（6割以上）
	C	変化の兆し（4割以上）
	D	不十分（4割未満）

学 校 自 己 評 価					年 度 評 価		
番号	現 状 と 課 題	評 価 項 目	具 体 的 な 方 策	方 策 の 評 価 指 標	評 価 項 目 の 達 成 状 況	達 成 度	次 年 度 へ の 課 題 と 改 善 策
1	【現状】 進学重視型単位制、55分授業、週34単位、年8回の土曜授業というシステムが定着。現役4年制大学進学率は10年連続80%を超えており、昨年度は90.7%であった。全年次でタブレットを活用した授業改善が推進されており、昨年度の生徒アンケートでは「タブレットを効果的に活用している」との回答が92.5%であった。 【課題】 ・ICTを活用した「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」「探究的な学び」に向けた授業改善を、推進する。 ・より高みを目指し第一志望を諦めない生徒を育成するため、一般選抜まで見通した指導が必要である。また、学校推薦型選抜、総合型選抜等にも対応した、面接や小論文指導を行っていく必要がある。 ・南高将来構想を全職員で共有し、全教職員が一丸となって取り組んでいく。	授業力向上による確かな学力の向上	・ICTを活用した「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」「探究的な学び」に向けた授業改善を推進する。 ・外部講師を招聘し授業改善研修を継続して行う。 ・教員相互の授業観察を継続して実施する。 ・企画委員会を中心に、南高将来構想について検討する。	・生徒・保護者アンケートでICTを効果的に活用している90%以上。 ・生徒・保護者アンケートで授業満足度80%以上。 ・外部講師による指導力向上研修を年2回以上実施。 ・教員相互の授業観察を1，2学期に実施。 ・企画委員会を中心に南高将来構想を検討し、方向性を決定する。			
		着実なキャリア教育の推進と生徒の進路実現に向けた計画的な取組	・3年間の計画的な進路支援の実施により進路希望の実現を目指す。 ・共通テストまでの支援を充実させ、現役大学進学率の増加を目指す。	・生徒アンケートで進路行事を計画的に行っている90%以上。 ・大学入学共通テストの受験者90%以上。 ・現役大学進学率90%以上。 ・国公立大学合格者30名以上。 ・早慶上理・GMARCH合格者80名以上。			
2	【現状】 文武自考に基づき、すべての活動に主体的に取り組む生徒を育成するため、活力と特色ある教育活動を目指し実践している。昨年度の生徒アンケートでは、「学校行事に意欲的に参加できている」との回答が97.0%であった。また、「部活動が盛んである」との回答は99.8%と非常に高い。総合的な探究の時間を活用したカリキュラム・マネジメントについて継続して研究している。 【課題】 ・総合的な探究の時間の再構築完成年度となるため、課題設定・解決能力を育む活動をさらに深化させる必要がある。 ・本校の重要な教育活動である海外交流事業に継続して取り組んでいく。	主体的に取り組む生徒を育成するための特色ある教育活動	・生徒が主体的に取り組めるよう学校行事を充実させる。 ・総合的な探究の時間に計画的に取り組ませ、主体的に取り組む生徒の育成を目指す。 ・2年次海外研修旅行や海外交流事業への積極的な参加を促す。	・生徒・保護者アンケートで学校満足度95%以上。 ・総合的な探究の時間にて、グループ探究からプレゼンテーションを実施し、主体的な学びを実現する。 ・2年次生徒アンケートで研修旅行に積極的に活動した95%以上。 ・海外交流事業への応募者数の増加。			
		部活動の更なる活性化	・生徒の主体性を引き出し、成就感や達成感を感じさせる部活動を実践する。	・生徒アンケートで部活動が盛んである98%以上。 ・部活動への加入率90%以上。 ・各部活動の大会や発表会等の結果向上。			
3	【現状】 近隣小中、辻地区、市及び南区との連携事業を実施し、地域に開かれた信頼される学校づくりを推進している。本校の魅力を更に発信するため、学校HP等を効果的に活用した積極的な情報発信に努めている。 【課題】 ・本校教育活動への理解を更に深めてもらうため、地域に開かれた信頼される学校づくりのより一層の推進が必要。 ・学校説明会等の工夫や中学校・塾への説明会実施、学校HPの効果的な活用などによって、引き続き本校の魅力を発信する必要がある。	コミュニティー・スクールとして開かれた学校づくり	・近隣小中、辻地区、市及び南区との連携を推進する。 ・学校運営協議会との連携・協働を充実させる。	・辻小学校と連携したチャレンジスクールを実施する。 ・近隣小中、辻地区、市及び南区と連携事業を実施する。 ・学校運営協議会を通して地域と有益な連携・協働を実施する。			
		組織的、積極的な情報発信	・計画的な学校広報活動を推進する。 ・学校HPの更新や学校情報の新たな発信の仕方を検討する。	・学校説明会、部活動体験への参加者数の増加。 ・学校HP更新回数の増加。 ・中学校・近隣塾等への学校説明の実施。 ・志願倍率1.3倍以上。			

学校運営協議会による評価
実施日 令和 年 月 日
学校運営協議会からの意見・要望・評価等